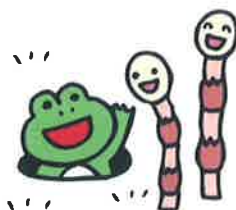




今年度の地域包括支援センターへの相談をふいかえて…

西成区地域包括支援センターには、日々さまざまな相談が寄せられます。平成28年2月末で、延べ5,213件の相談がありました。それらをまとめてみると様々な傾向がみえてきます。



そのひとつに、長年ひとり暮らしを続けられ、いざ生活に困りごとが出てきても誰にも相談できず、状態がひどくなってから「医療機関」へつながり、そこから地域包括に連絡が入るといった内容が多くみられました。

次に「いくつもの困りごと」を抱えておられる相談が多くあり、介護支援以外にも、医療に関すること、福祉サービスの利用について、経済的な支援、住まいに関する事など困りごとの範囲が多岐にわたっています。

「認知症」に関する相談も多くみられました。これからも「認知症サポーター養成講座」や「アートワークでつながる」などの活動を通じて、西成区地域包括支援センターは、「認知症になっても暮らしやすいまちづくり」を進めていきます。

岸里地域学習会

『地域の見守り・支え合い
～認知症の方の支援について～』

1月7日岸里老人憩いの家にて岸里地域ネットワーク委員学習会を開催しました。

事例を通じて認知症の方への見守り方法を考え「見守り活動の大切さを実感」「声かけが大切」等たくさんの意見がでました。

地域包括はこれからもみなさんが安心して暮らせるまちづくりを目指して様々な取り組みを行っていきます。



あいりん地域総合相談窓口

「ラジオ体操」



仏現寺公園（菽之茶屋北公園）で毎週水曜日、16時からやっています。

12月からは、「出席カード」ができました。スタンプを集めるとすてきなプレゼントがあります。暖かくなってきた今、ラジオ体操で体を動かしてみませんか。

あいりん地域総合相談窓口
電話：6633-7200